

報道関係者各位

平成25年1月7日  
株式会社 新昭和・ウィザースホーム

ウィザースホーム千葉北展示場  
**「収納+子育て」をテーマにした  
モデルハウスがグランドオープン！**

株式会社新昭和(本社:千葉県君津市、代表取締役社長 松田 芳彦)の注文住宅ブランド「ウィザースホーム」では、千葉北展示場(ハウジングガーデン千葉 内)に、「収納+子育て」をテーマにしたモデルハウスを平成25年1月2日にグランドオープンいたします。

奥様の毎日の家事や子育てをサポートする様々な住まいのアイデアを満載したモデルハウスで、実際の空間を体感していただけます。

■モデルハウスコンセプト

【エクステリア】

都市生活に豊かさと癒しをもたらすナチュラルテイスト。

どこか懐かしくて新しい、“素朴さ”が魅力の「La vieunché(ラ・ビアンシュ)」シリーズの中から、当展示場では「ナチュラル」スタイルがご見学いただけます。片流れのルーフラインが象徴的なシルエットに、職人の手仕事による白い塗り壁。さらには、ウッディなイメージのバルコニー手すりやフラワーボックス、2階上部まで伸びる蔦を模したロートアルミなど、モダンなシルエットにナチュラルで大らかなイメージをプラスすることで、外観デザインから都市生活に豊かさと癒しをもたらします。



## 【インテリア】

スムーズな家事動線に、収納と子育てアイデアをプラス。

間取りのコンセプトは、「収納+子育て」。まず、奥様のスムーズな家事をサポートする動線に、しまうモノ、場所にこだわった収納計画を連動させることで、時短・家事ラクを叶える使い勝手のいい間取りを実現しています。次に、住まいから子育てをサポートするために、スタディコーナーを兼用した畳コーナーをはじめ、キッチン脇に設けた食育コーナーやバックヤードに配したファミリーロッカー、リビング階段、ロフト付きの子供部屋などを配置。お子さまの創造力や家族のふれあいを育む多彩なアイデアもポイントです。

## リビング

ヨーロッパの「ラスティック(素朴さ)」を採り入れた、どこか懐かしくて新しい洗練のインテリアコーディネートもポイントの一つ。一つひとつのディテールにまでこだわったアイテムが毎日の暮らしに豊かさと潤いを与えてくれます。



## 土間収納・ファミリーロッカー

間取りコンセプトの「収納+子育て」。数々のアイデアや工夫をご覧ください。メインの玄関はもちろん駐車場から直接出入りできる玄関脇の「土間収納(左)」汚れを気にせず外で使うモノなども収納いただけます。ファミリー玄関から洗面の動線上に設けた家族みんなの収納スペース「ファミリーロッカー(右)」。学校から帰って～ランドセルを片付けて～手洗い…などの習慣も自然と身につきます。



## 子ども部屋

半階あがったロフトは、お子さまの想像力を育むマルチな空間。また、お子さまは、成長に応じて持ち物も趣味も変化しますので、可変性の優れた収納タイプを採用しています。



